

②【新潟県立吉田病院】

住 所	〒959-0242 新潟県燕市吉田大保町32-14		病床数：199床
診療科目	内科、小児科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科		
研修責任者名	中村 厚夫（院長）	連絡先：syomukakarichou@yoshida-hosp.jp 0256-92-5111（代表）	連絡先担当者名：土田 誠（庶務係長）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：0人、24年度：0人、25年度：0人、26年度：0人、27年度：0人、28年度：0人、29年度：0人、30年度：0人、令和元年度：0人、2年度：0人		
研修受け入れ可能診療科*	学会認定専門医数	学会認定指導医数	
必修：内科（内科、消化器、呼吸器、腎臓、血液、糖尿病）、小児科、外科	内科（総合内科）2人、内科（消化器）2人、内科（消化器内視鏡）2人、内科（腎臓）1人、内科（透析）1人、内科（アレルギー）1人、小児科1人、小児（アレルギー）1人、外科（外科）2人	内科（消化器）1人、内科（消化器内視鏡）1人、内科（腎臓）1人、内科（透析）1人	
施設の概説・特徴			
<p>県央地区の交通の要衝、燕市（旧吉田町）に位置し、地域中核病院として、「地域に信頼され愛される病院」を基本理念に、患者中心の医療、良質で安全な医療・看護、他の医療施設と連携しての地域完結型の医療の提供に努めている。また、当院の特徴として、県立特別支援学校を併設し、小児慢性疾患、特に最近は「子どもの心の疾患」の診療に力を入れ、注目されている。</p>			
研修受け入れ可能診療科の説明			
<p>内科：プライマリ・ケアから各専門的医療まで多岐にわたる。消化器は、食道、胃、大腸の早期癌に対してEMR、ESD、粘膜下腫瘍にEUS-FNA、肝癌にTAEやRFA、また、総胆管結石や隣石にはESWLなど最先端医療のすべてを行っている。呼吸器は喘息・COPD・癌を中心に、血液は無菌室で白血病・悪性リンパ腫の診療を、その他、18台での血液透析、肥満・高血圧・糖尿病・高脂血症など増加の著しい生活習慣病を病診連携のもと診療している。</p> <p>小児科：日常一般診療の他、腎疾患、アレルギー疾患、子どもの心の診療は専門医のもとで研修できる。小児腎移植の実績がある。</p> <p>必修である内科、外科を選択することも可能である。</p> <p>外科◆：腹部外科から癌緩和医療や外来手術まで広範囲な疾患を相手に、術者など実践的で高密度な研修が行える。</p>			
研修の概説と特徴			
<p>協力型病院として大学での研修に引き続きおよそ9ヶ月の研修を受け持つ。内科で2～4区間に分かれ、それぞれ専門の医師が指導に当たる。</p> <p>外科では縫合や小手術などの手術手技だけでなく、腹部所見の見方や急性腹症の治療方針の決定、患者の病態に応じた全身管理法を学ぶ。</p>			
研修医の当直			
<p>一年目は内科と外科の指導医と二人体制で当直または日直に入ってもらい、診療の見学・介助を行う。二年目は常勤医と同様、ひとりで日当直表に組み込まれる。しかし、内科、外科、小児科がオンコール体制に入っているので必要に応じてサポートをする。</p>			
処 遇			
<p>●給与：1年次月額310,000円、2年次月額340,000円 （諸手当）通勤手当：上限44,100円（距離に応じた区分により支給）、 時間外手当：（時間外勤務時間に応じ支給）、 当直手当：1年目10,500円/回、2年目21,000円/回（概ね4回）</p> <p>●食事：昼食は売店が開店している。 夕食は院外食堂からの出前も利用できる。</p> <p>●宿舍：個人準備 住居手当あり（上限27,000円） ※不動産業者斡旋可</p> <p>●居室：研修室は、正規医師と共用である。</p> <p>●図書・文献：図書室は医局に隣接し、二十四時間自由に利用できる。 外国雑誌、邦文雑誌それぞれ各領域20種類が準備されている。医中誌 web 利用可。</p> <p>●インターネット環境：各自の机からインターネットの接続が常時可能。</p>			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。

◆令和4年度当院での外科（必修）担当科の1つであり、研修の際は、基本的な外科手技と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。